

2024 年度第 10 回価格審査会の開催について

2024 年度 10 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、外部の有識者によって、当財団が発刊・公開する定期刊行物等の掲載価格について、その客観性、妥当性の審査を行うものです。

開催日時	2025 年 1 月 15 日(水) 10:00～12:00		
場 所	本部 6 F 大会議室		
委 員	松田 寛志	日本工営株式会社 流域水管理事業本部 本部長	
	遠藤 和重	一般財団法人日本建設情報総合センター システム事業部門 コリnz・テクリスセンター長	
	栞原 圭一	東日本建設業保証株式会社 業務部 副部長	
	鈴木 由香	株式会社日本設計 コスト設計部長	
	星野 正	東日本旅客鉄道株式会社 東京建設プロジェクトマネジメントオフィス プロジェクト支援ユニット プロジェクト予算 マネージャー(総括)	
当 会	共通資材調査部	部長：大澤 勝、次長：小林 法雅	
	建築調査部	部長：高橋 俊一、次長：岩井 卓矢	
	監査審査室	室長：黒澤 昭浩	
	調査統括部(事務局)	部長：柴尾 治、課長：本間 哲	

☐2024 年度第 9 回価格審査会議事録(案) 確認

☐2024 年度第 10 回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明	
1. 「建設物価」2 月号、「Web 建設物価」2 月号の価格調査	
・ 価格が上伸した資材（工事費）	
【Web 建設物価】	
レディーミクストコンクリート（鹿嶋市ほか31都市）、道路用砕石類（新潟市ほか13都市）、再生砕石類（富山市ほか6都市）、アスファルト混合物（宮古市ほか18都市）、インターロッキングブロック（福岡市ほか6都市）、水道用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管（VP）（全国）、芝（那覇市）、硬質ポリ塩化ビニル管（全国）、燃料油（全国）、非鉄スクラップ（全国）ほか	
・ 価格が下落した資材（工事費）	
【Web 建設物価】	
異形棒鋼（青森市ほか25都市）、H形鋼（青森市ほか32都市）、等辺山形鋼（青森市ほか32都市）、鋼板（那覇市）、鉄スクラップ（青森市ほか35都市）ほか	
2. 比較資料	
・ 企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明	

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
質問 1	継手類の値上がりが全国的に見られるが、値上がりの背景は何か。	継手類に限らず配管材全般でメーカーの価格改定による値上がりが続いている。背景には、原材料価格の高騰に加え、配管材は輸送効率が悪いいため、輸送費値上がりの影響を強く受けていることが要因として挙げられる。
質問 2	「伸銅品」の補足コメントに「国際相場下落を受け、下落」とあるが、最近の銅価格は値上がりしていると思われるが、相場と製品の関係はどうなっているのか。	銅相場は乱高下しており、11 月から 12 月は下落、12 月末から 1 月にかけては値上がりしている。製品である伸銅品は、前者の下落を反映し値下がりした状況である。
質問 3	「ポリ塩化ビニル管」各種における値上がり要因の補足コメントで、ほとんどの帯で「”製造“及び輸送コストの増加」とあるなか、「水道用」のみ「”原料高”及び輸送コストの増加」と”製造”ではなく”原料”としているが、違いはあるのか。	変動理由に大きな違いはなく、広義の製造コストには原料コストも含まれる。表現に相違があったということである。
質問 4	燃料油の値上がりは全国的であると思われるが、入稿情報表において、値上がり地区の表現を全国とせずに、都市名を列挙しているのはなぜか。	入稿情報表では『Web 建設物価』に掲載している都市名称を記載している。燃料油は、全国における主要都市ごとに価格を掲載しているため、都市名の列挙となっている。
質問 5	レディーミクストコンクリート・東京 17 区地区の説明コメントで「レディーミクストコンクリートは、来年度、値上がり傾向が続くと見られる」とあったが、どのような状況なのか。	セメント価格の値上げ表明、骨材価格の値上げ気運の高まりに加え、人件費・運搬費の値上がり傾向を考慮すると、来年度も値上がりが続くと予想される。
質問 6	セメントの市況について、需要が減少し需給が緩和状態にあるなか、価格は下落することなく横ばいとなっている背景は何か。	メーカー各社は、カーボンニュートラルを見据えた研究開発や設備投資費用の確保、工場の維持・修繕費用の増加に伴い、採算が悪化することに強い危機感を持っている。そのため、需給が緩和している状況下であっても、販売価格を維持している。また、4 月以降に原材料の高止まり等の影響による収益改善を理由に 2,000 円の値上げを表明している。

質問 7	鋼材価格が下落している要因は、US スチールの買収問題が影響しているのか。また、同問題により影響を受けている資材はあるのか。	鋼材価格の下落は、US スチールの買収問題の影響ではなく、原材料となるスクラップの下落や需給の緩和が要因となっている。他の資材についても、同問題の影響による価格変動は生じていない。
質問 8	アスファルト混合物の市況変動は、年度末の道路維持修繕工事の増加が影響しているのか。	アスファルト混合物の市況は、需要が増加する第 4 四半期に価格交渉が進展しやすいという傾向はあるものの、当月の変動は、原材料となる骨材や輸送コストが上昇したことによるものである。
質問 9	レディーミクストコンクリートの価格掲載について、「価格掲載」から「－」となる都市がある一方で、「－」から「価格掲載」となる都市があるのは、各々の都市の需要が影響しているのか。	島田市と藤枝市の「－」から「価格掲載」とした理由は、曲げコンクリート（早強セメント使用生コン）の市場流通を確認したことから価格掲載する判断をした。また、鹿屋市と薩摩川内市の「価格掲載」から「－」とした理由は、JIS 改正によりスランプ 10cm が廃止されたことに伴い、市場流通が確認できなかったことから価格掲載を「－」に変更した。
質問 10	主要資材価格動向の「管柱 杉 (KD)」価格について、緩やかに下落していた価格がここ 3 カ月は横ばいとなっている。木材価格は下げ止まった感があるのか、これからも下落基調であるのか、先行きの見通しはどうか。	木材の先行きについて、国産材は製材価格の値上げ意向はあるものの、住宅着工数が伸びておらず、値上げの浸透は難しい状況となっている。一方、輸入材はロサンゼルス山火事やアメリカの国内情勢など不確定要素が多く、市況動向を注視している状況である。
質問 11	「ボックスカルバート」類で、金沢市で価格上伸しているが、災害復旧との因果関係はあるか。	災害復旧との強い因果関係はない。セメント製品全般に共通して、各地で原材料や輸送などのコスト上昇による値上げとなっており、今回は金沢地区で値上げ浸透が確認できたため上伸した。
質問 12	レディーミクストコンクリートの市況コメントで、「協組やメーカーの値上げが浸透し、上伸」とあるが、製造や輸送のコストなど直接的な要因の記載がないが背景は何か。また、地区別の市況コメントでは、観音寺地区で「小学校の新築工事や道路関連工事」といった具体的な需要の増加要因の記載があったが、観音寺地区がクローズアップされた要因は何か。	レディーミクストコンクリートの市況コメントについて、結果として「協組やメーカーの値上げが浸透した」としたが、その背景としては、製造・輸送コストの増加が値上げの要因となっている。限られた文字数の中で最も伝えたいことを各地区の調査担当が選定している。同様に観音寺地区では、需要が旺盛となった要因として具体的な物件情報を記載した。

質問 13	主要建設資材（10 品目）の需給・価格動向の燃料油について、補助金の段階的縮減を受け、今後も価格上伸が見込まれるなかで、燃料油の値上がりは他の資材へ全般的に影響を及ぼすと考えられるが、燃料油の動向が今度どう他の資材へ影響を及ぼすのか、見通しを伺いたい。	燃料油が上伸すれば、輸送費も含めあらゆる資材で影響がでる。但し、それぞれの資材価格の原価構成において、燃料価格がどの程度占めているかが重要である。燃料ウエイトが小さければ、燃料油上伸分を製品価格に転嫁する動きとなる可能性は低いが、燃料ウエイトが大きければ、製品価格に転嫁する動きは高くなると予想される。
審議結果	「建設物価」2 月号、「Web 建設物価」2 月号の価格動向に問題はなかった。	

以 上